

教育目標

『思いやる』

「感動と活力のある学校」

『よく考える』

「学ぶ期待のある学校」

『力強く生きる』

「一人ひとりが輝く学校」



鳥山中だより

令和8年9月16日

No.5

鳥山学舎 世田谷区立鳥山中学校 校長 加瀬 康夫

世田谷区南鳥山 4-26-1 TEL 03-3300-6361

FAX 03-3300-6363



はきものをそろえると 心もそろう 藤本 幸邦

令和8年度第2学期がはじまりました。夏休みに入る前に、色々と目標や計画を立てていたと思いますが、実行することはできたでしょうか。始業式でも話したように2学期は他の学期よりも日数も多く、新しい挑戦と学びの機会がたくさんあります。

2年生の職場体験、3年生の修学旅行などは最たるものでしょう。私も修学旅行などの宿泊行事で何度となく引率しておりますが、「はきものをそろえると 心もそろう」という言葉を度々思い出します。この言葉は、長野県の円福寺の住職であった藤本幸邦氏がつくった詩に出てくる言葉です。

「はきものをそろえる」
はきものをそろえると 心もそろう
心がそろくと はきものもそろう
ぬぐとくに そろえておくと
はくとくに 心がみだれない
だれかが みだしていたら
だまってそろえて おいてあげよう
そうすれば きっと
世界中の人の心も そろうでしょう

藤本氏は終戦後、戦争で親を亡くした子供たちを目の当たりにし、心を痛め、そのような子供たちを自分のお寺で育てることにしました。3人の子供を育てることから始め、その後人数が増え、20人30人と多くなっていったそうです。ある日玄関を見ると脱ぎ捨てられた靴が折り重なったり、あちらこちらにばらばらになっている状況を見て心を痛めたそうです。（その時は子供たちに、「はきものをほっぽらかしにしておくと、また戦争になってしまうぞ。」と教えたといわれています。）それがきっかけとなり、この詩が作られたそうです。

宿泊行事の時などでは、生徒の部屋の前などに脱いだ上履きやスリッパがきちんとそろえられている場面や残念ながらばらばらになってしまっている場面を見かけることがあります。自分の家や人の家に行った際に自分の脱いだはきものをそろえたり、

自分の使ったものをそろえてきちんと元に戻すことは、当然のことであり、自分や相手の心を気持ちよくする行動です。はきものをそろえることができる人は、心が穏やかで自分の行動を冷静に考え、他の人がどのような気持ちになるかも考えることができる人であり、そのような人は他の人が乱したはきものをだまってそろえることができる人でもあるのだと思います。

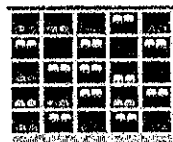
反対に、自分の靴をそろえずに脱ぎっぱなしにするという行動は、他の人がどのような気持ちになるのかということを考えていないということだだと思います。「面倒くさい」と理由付けをして自分さえよければいいといった、自分勝手な考え方をしていることを表す行動です。一人一人が自分のことを落ち着いて見つめたり考えたりしながら行動出来たら、他の人の思いや考えを巡らせることができれば、お互いに気持ちの良い生活ができるようになるはずです。

そうすれば、みんながお互いのことを思いやる、平和な世の中につながっていくという思いが込められているのだと感じています。

ちなみに、私もそうなのですが、会議などで他の学校へ行ったときにその学校の下足箱を見て、この学校の子供たちの様子は…、と考えてしまう人はとても多いです。

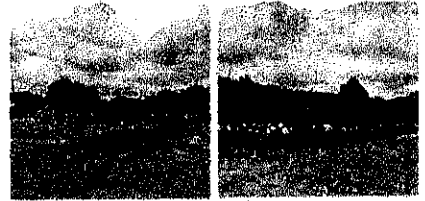
教育学者の森信三氏は「しつけの3原則」というものを提唱しており「あいさつ 返事 はきもの」とされています。（この「はきもの」とは、「はきものを脱いだら、必ずそろえ、席を立ったら必ずイスを入れる。」といった所作のことを意味するそうです。）これは、家庭、学校において大切なものであり、社会に出たときに気持ちよく生活するための思いやりのある所作を身につけることに繋がると言っています。子どもが成長するにあたり身に付けなければならないことであり、大人が子どもに身に付けさせるべきことであり、

まず身近な年長者が率先して行動することと示されています。



防災の日

1923年9月1日に発生した関東大震災から103年を迎えました。7月28日には最大震度7の揺れを記録した令和8年熊本地震の発生、そして豪雨による災害が様々な地域で発生しています。本校で実施している集団下校は、安全対策の1手段としての取り組みですが、この防災の日を一つのきっかけとして、自分や家族の安全を守る、地域の安心について考える機会にしたいと思います。



道徳授業地区公開講座

道徳授業地区公開講座は、学校・家庭及び地域社会が一体となって子どもたちの豊かな心を育むとともに、小・中学校等における道徳教育の充実を図ることを目的として、東京都教育委員会、区市町村教育委員会が連携して開催しているものです。

- 趣旨
- ・意見交換を通して、学校・家庭・地域社会が一体となった道徳教育を推進する。
 - ・道徳科の授業を活性化するとともに、質の向上を図る。
 - ・道徳科の授業を公開することにより、開かれた学校教育を推進する。

1学年では「より良い学校生活、集団生活の充実」2学年では「自主、自律、自由と責任」3学年では「遵法精神、公德心」を主題として授業を実施しました。

授業後には、教職員、学校運営委員、保護者の方々と共に意見交換を行いました。

※保護者の方から、道徳の授業を参観して、思わず2学年で教材としていた「二番目の悪者」の絵本を購入してしまいました。という声を聴かせていただきました。道徳の授業とは、その授業の中で終わりではなく、それを他の人と話したりすることで、広がりを見せる教科です。ぜひ、その本を話題として多くの方と感想などを話し合ってほしいと思いました。



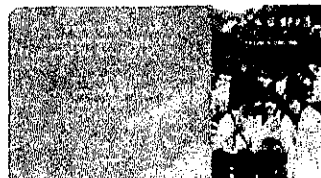
東京都教育委員会より（東京都教育委員会のHPをご覧ください。）

烏山中学校では、進路説明会は保護者に関しては3年生に限らず、2年生の保護者に関しても参加していただけるようにしております。今回は10月28日（水）に実施を予定しており、主な内容としては都立高等学校入学希望者選抜についてとなっております。

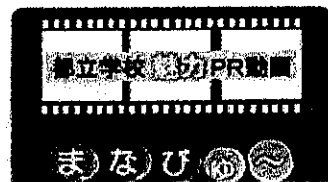
都立高等学校については、東京都教育委員会のホームページでも様々な情報が提供されております。「東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」は、ホームページからどなたでも見ていただけるようになっております。他にも学校紹介の動画等多くの情報が東京都教育委員会のホームページで紹介されております。



←※現在公開されているのは日本語版です。外国語版も後日公開される予定です。



都立高校等検索



まなびゅ〜

6年「令和9年度都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」(日本語版)

2年職場体験・3年修学旅行 9月28日(月)～30日(水)

2年職場体験では59か所の職場にお世話になる予定です。お忙しい中、活動の趣旨にご賛同いただき、ご協力いただけること大変感謝いたしております。至らぬ点等、あるかと思いますがよろしく願いいたします。

3年生は奈良・京都への修学旅行です。9月末とはいえ、とても気温が高くなる場合も考えられます。まずは自身の体調管理をしっかりしておきましょう。

